



FRIENDS

The Friendship Force of Saitama 会報 第 111 号 (2023/9)

<http://www.ffiisaitama.com/>

埼玉クラブ会員交流

4月 人形のまち 岩槻散策

4月30日(日) 雨との予報だったが、岩槻駅に着いたら雨も上がり一安心。初めて岩槻を訪れる人も含めて会員16名が参加。会員の小川幸子さんの提案により企画されたこのイベント。

小川さんのお友達で岩槻観光ガイドをしている中村知子さんの案内で見学スタート。

岩槻駅は岩槻城を模して造られたそう。

1. まずは裏道を通って芳林寺(ほうりんじ)へ。

境内には、市指定文化財の「太田氏資宝篋印塔」がある他、岩槻藩初代藩主高力清長の子、正長の宝篋印塔や太田道灌騎馬像などがある。お寺の入り口には岩槻城の地図があった。城は沼を埋め立て、太田道灌の築城による。

2. 八雲神社:江戸時代に、近くに市場を開設した時、これを守護する市神として祀られる。朱雀・白虎・青龍・玄武の四神を祭っており、中の彫刻も見事。

3. 岩槻郷土資料館:昭和5年に建てられた岩槻警察署の旧庁舎

昔の暮らしの道具展示には「わあー懐かしい！子供のころにあったねー・・・」

4. 岩槻藩遷喬館(せんきょうかん):岩槻藩の藩校で平成18年に復元された。



5. 料亭「ほてい家」でお昼。館内に飾られた四季折々の人形を愛で、優雅なお部屋で季節の彩り御膳をいただく。

6. 岩槻人形博物館:2020年に日本初の公立人形博物館として開館。

人形を作る過程が展示と映像で良くわかり、様々なジャンルの人形が保存、展示されている。

7. 鈴木酒造(明治4年創業)・酒蔵資料館:勝海舟書の屏風などなど、お宝いっぱい！先ずはびっくり。

8. 東玉人形の博物館:ビデオで人形のできるまでを見る。岩槻は桐の木の産地であった。

深澤美紀子さん感想:入会したばかりでしたが、思い切って参加してみました。集合場所に着くと皆様が温かく歓迎してくださったのですぐに打ち解けることができ、楽しい一日となりました。ガイドの中村さんが素晴らしく、本格的なウォーキングツアーで岩槻の歴史と文化を詳しく学ぶことができました。お天気にも恵まれ、時の鐘最中や鈴木酒造のお酒などおいしいお土産もゲットです。なにより FF 埼玉の活動に参加できて、会員の皆様と知り合うことができた貴重な機会になりました。



芳林寺にて



太田道灌像



鈴木酒造ギャラリー



ランチ(ほてい家)



5月 さいたま観光国際協会主催 国際友好フェアに参加



「大人のホームステイ」をキーワードに会員募集！



5月3・4日に土呂駅近くの市民の森で開かれた国際友好フェアに出展参加した。天気にも恵まれ大勢の人で賑わった。理事が交代で、ブースに展示した交流の写真を説明しながらFFのよさを説明し、会員募集に努めた。FFに興味のある方でゲストカード記入者は24名にもなり、今後、会員になってもらえることを期待し、イベント案内などをする予定。



6月 体験談を聞く会



6月4日(日)午前10時から12時まで、西村純枝さん、外山哲代さん、宇田裕子さんの体験談を聞き、そのあと2グループに分かれて情報交換を行った。このイベントには、5月3・4日に開かれた国際友好フェアでFF埼玉クラブのブースを訪問した方でゲストカードを記入してくれた方にも案内したところ、5名が参加してくれた。

道江幸江さんの感想 3人のお話が聞けることになり楽しみにしていました。そして友好フェアで関心をもっていただいた方も沢山来てくださり新鮮な会になりました。FFの活動も活発になってきました。西村、外山さんの受け入れ時の食事や郊外への案内など写真とともに丁寧に対応されているのに感心しました。宇田さんのメキシコでの滞在は新しい事の連続で刺激になりました。新しい言葉に慣れていく状況を幼児が言葉を獲得する論理になぞりお話しして下さったのが印象的でした。

こんな話が聞けました！

FFのゲストを我が家にお泊めして

外山 哲代



FF埼玉入会以来、女性5名、ご夫妻5組のゲストを受け入れさせて頂きました。「ゲストを迎える準備は、大変でしょ、お忙しいでしょ。」とおっしゃって頂くこともあります。確かにその通りです。前もってお風呂場やおトイレ、リビングも普段より念入りに時間をかけて掃除をしますし、お食事の面では、アレルギーのある方やベジタリアンの方もいらっしゃいます。それでも「ゲストが見えるわよ。」と言うと主人は、おトイレの天井の補修など、先延ばしにしていたことを、ゲストのためにやってくれます。またある時は、古くなった換気扇や蛇口などどうしようかなと思っていた時、この機会に新しいものに換えてかえって使いやすくなり、ゲストがお帰りになった後も生活がしやすくなりました。新しいものに換えようか迷っているところをゲストの受け入れが背中を押してくれるのです。その後の生活の質が少しばかり向上します。我が家にゲストをお泊めして、その生き方や考え方に触れ、そのことが私の生活にも良い刺激を与え自分のためになることも実感します。



FF がやめられないわけ

西村 純枝



スイス ソロトゥルンにて

2005年入会、その後夫が仕事を辞めて2010年オレゴン渡航を機に入会しました。ほぼ毎年受入れをしています。FFと埼玉大学の留学生との関連から若い世代の人達も受け入れるチャンスに恵まれています。また、2010年から夫とFFの渡航にほぼ毎年参加もしています。通常の渡航・受入れの他、日本大会、世界大会などがあり、こちらにも参加しています。

受け入れ後にアンバサダーの国を夫と訪ねホームステイをさせていただき友情を深め合う時のワインは最高です。その逆ケースもあり、外国の方がステイしなかった年はなかったと思います。受入れのHCを4～5回と、夫も渡航ACも経験させていただきました。こうなるとライフワークになりそうです。

私はFFの活動は、大いに楽しみ参加することに意義があるのではと思っています。大人たちが手を携え他国にホームステイする。食べて話して写真を撮って、帰国したら子供たちにご近所に職場で話す。仲よくしようよ。ちがうんだよ、国によっても個人でも。世界は広い！「真剣に楽しく遊ぶこと」にこそ小さいけれど世界平和に繋がって欲しい！の願いが明確にあると思っています。この方法なら今の私にもできる。



着物着付け練習

メキシコでの海外インターンを経験して

宇田 祐子

昨年、定年退職したのを機に海外インターンで3か月メキシコに行ってきた。やりたかったのは言葉の赤ちゃん体験。知らない言葉の中に身を置いたら何が見えて、何が聞こえて、どう感じるのだろう…それを自分で試してみたいと思い、赤ちゃんのやることだけやろう、と心に決めて出発した。



メキシコに到着すると、当たり前だけど分からないことだらけ。看板を見ても、字が書いてある、程度の認識。周りの会話も分からない。でも心地いい。人の言葉に聞こえるから。私はオフィスに通い、小中学校では国際理解授業もやらせてもらい、週末はホストと過ごした。ホストはキッチンに立つと私にスペイン語で何やら話す。単語は一つもわからない。でも、もしかして…と思い、オリーブオイルを持ってくと「よくわかったね」と褒めてくれる。単語はわからないけど全体的には何となくわかる、そんな事が日常のホストとの関係性の中で増えていく。街中の看板も読んでみたくなる衝動に駆られる。一つ一つ字を追ってみると、ホストが言葉を重ねてくれる。自分の中にあった音がか何かのきっかけで状況に合わせて引き出されていく感じがする。赤ちゃんはきっとそうやっているのだ。3か月が経った頃には看板を見ると、看板そのものが情報をもって自分に近づいてくる感じがした。



国際交流をやっていく上で、ホストファミリーとの関係性をこれからも大切にしていきたいと思う。

他クラブの渡航に参加しました

東京クラブと New Zealand ノースランド クラブ に渡航(6月8日～16日)

小川幸子



私は約20年前、ツアーで南島からオークランド迄の旅をして、その際に触れた人々や自然、又日本にいらしたアンバサダーが大好きで、機会があれば再訪したい国でした。この度は最も北の地区ノースランドのクラブとの交流との事で参加させて頂きました。

私達 12 名のアンバサダーは6月9日朝、30分遅れでオークランド国際空港に到着。

そこから先方の用意して下さったマイクロバスでNZらしい景色を見ながら北上。途中カウリ博物館で島特有のカウリの木の歴史を見ました。カウリは木目の美しさから様々な物に加工され絶滅寸前まで行きました。

ワンガレーは NZの国の成り立ちの歴史ある所です。クラブのメンバーもご高齢者が殆ど。しかし、皆様とてもお元気でした。それは清らかな空気と自然、新鮮な食

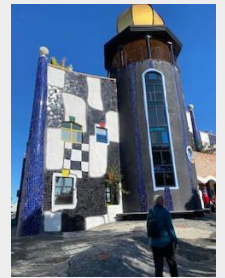
べ物の賜物と感じました。クラブのメンバーはマオリ文化をととても大事にしている、私達も少しですがそれに触れる事が出来ました。 マッチングもピッタリでそれぞれのアンバサダーが満足しておりました。

私のホストは愛犬と暮らしており、毎朝ヨットの街らしい海辺を散歩。それから全体会に長距離ドライブ。日本から持って行った材料でお好み焼き、鳥唐、カレーを作り、ホストの友人お二人、母上、お嫁さん、2人の男の子のお孫さんと楽しい夕べを過ごしました。

因みに、町を走っている車は日本車が多く、日本企業も頑張っているなーと感じました。

NZ は日本と同じ島国で温泉もあり、地熱発電所が建設出来たのは国民性の違いを感じました。 F F の交流はツアーでは味わえないその国を知る機会です。

東京クラブの皆様ありがとうございました。



地元芸術家の美術館

日程表

2023年6月8日(木)成田から NZ90便でオークランド国際空港へ

9日(金) A:M 到着後 マイクロバスで景色を見ながら北上

途中カウリ博物館見学、ワンガレー到着 各ホスト宅へ

10日(土) フリーデー:ホストと過ごしホスト以外の方達と夕食

11日(日) ホストの教会訪問 3:30 クラブによる歓迎会

東京クラブで茶道を披露・東京音頭を全員で踊る

12日(月) バスでベイオブアイランドへ

ラッセル(ワンラギ条約の場所)にて博物館見学

13日(火) 市庁舎訪問 市長と面会、市の図書館見学、マオリ文化見学・歌や踊りの観賞

14日(水) フェアウェルパーティー

15日(木) 2:35 各ホストとお別れ

ワンガレー空港からオークランドへ ホテル泊

16日(金) 8時50分のフライトで帰国



ワンダギの博物館



ホスト宅近くのハーバー



ラムチョップ

Switzerland: Solothurn Club にて 川田恵美子



Luzern の水道橋

8月27日・・・深夜便で一路ドバイ経由チューリッヒへ。田中さんと川田は、今晚から Paul さんの

お宅に滞在。Paul、Irumi さんカップルは、weekday は Paul さんの市内のアパートで、週末は Irumi さんの湖畔の家で過ごすのだとか。お二人で焼いてくださったハードなパンとチキンのクリーム煮の夕食はとても美味でした。なんでも仲良くお二人でこなす 70 代前半のカップルの姿に見とれました。素敵でした。カルチャーの違いを感じました。

8月28日・・・デイホストさんと Luzren~Rigi Kulm へ。残念ながら雨の一日でしたが、予定どおりボートに乗船。Luzern の旧市街を散策後、かなり急こう配な登山電車に乗り Rigi Kulm へ。雨で眼下に広がる景色が見えず残念。終点 Rigi Kulm から 1 時間ほど歩くと美しい山並みが見えるそうですが、当日は視界ゼロ。まるで幻想の世界に身を置いているようでした。

France: Toulouse Club にて 田中加代



レストランで

スイス、チューリッヒからドイツのフランクフルトを経てフランスの Toulouse 空港へ移動。この間長崎クラブから参加の一名が直行便で帰国。入れ替えで 1 カップルが加わる予定がご主人の体調不良でキャンセル。9 名でのホームステイとなりました。

フランスとのマッチングがなかなか決まらず、決まってからも送ったメールが相手のボックスの都合で戻ってきてしまう状況が続いて、直前の一週間前に AC から相手の President に連絡してもらい、ホストから私あてにメールが届くことになっていましたが、最後まで届かず、ぎりぎりステイ先が変わりました。丘の上にある高級住宅地でそのあたりに何軒もホスト宅があるようでした。広い斜面が芝生の庭になっていて色々

8月31日・・・首都 Bern をデイホストさんと観光。装飾のついたファサード、100 以上あるという噴水、連邦広場、国会議事堂、時計塔等が現存しており、Bern の古い町並みは、世界遺産に登録されているそうです。午後 6:30~町のはずれにある Forest Cottage で farewell-party が行われました。

Cottage 前方にかすかな山並みが見え、正面の一番高いところにユングフラウヨッホ駅があるのだと Paul が教えてくれたのは、滞在最終日。連日の雨で山歩きには不向きな天候で残念でしたが、大好きな中世の古い街歩きを堪能。ホストさんが作って下さったチーズフォンデュ、ラクレット等の手料理からはスイスの温かい家庭の味が感じられ美味しくいただきました。楽しい、貴重な体験をさせていただきました。



ホスト宅でチーズフォンデュ

な木がゆとりをもって植えられ、2 匹の犬の散歩は必要ありませんでした。「サンクスミール」は「アジア食材の店」へ連れて行って貰って調達し、3 軒のホストファミリーが集まって和気あいのパーティーになりました。欧米のカップルはどこの男性も家事を一緒に行うので効率が良く安心してお任せできるし、奥様も仕事に行きやすいというわけです。あの姿を日本の男性にも見せてあげたい！



フェアウェルパーティー

スイスと違って昼間は日本と同じように暑くなり、スイスでのフェアウェルパーティー時に引き込んだ咳を伴う風邪に苦慮し今も引きずっています。FF を通じてヨーロッパ方面へ参加できるなんてまたとない機会、この機会を頂けた事に深く感謝申し上げます。

いま、FFI が世界のクラブと一緒に打ち出したいこと

— コロナ後の FFI 組織をどうしたいか —

会長 三好 紀子

現在 FF が抱える課題解決のために、本部が論点整理したプレゼンが 6 月 13 日にありました。FFI の理事であり FR 小泉さん(札幌クラブ)が日本のクラブ向けに内容をまとめ直し、各クラブから意見を加えた素案を作成しました。7 月～8 月の 3 回のワークショップで論議をし、世界大会(10/2～10/5)で日本から提案する改革案の完成を目指しています。埼玉クラブからは稲垣(朋)さんと三好が参加しました。

活発な意見交換ができてるのは、元 FFI 理事の大西弘さんの議事進行と的確な意見整理のお陰です。

1.FF がさらに世界で受け入れられるために、ミッションを明確にする

friendship / peace / ボランティア精神に支えられたホームステイ / 世代を超え、文化を認め合い、平和に共存する / 友情が創る争いの起きにくい社会 / (8/17 現在、確定していません)

2.緊急課題

- ① 従来のクラブ制度と新たな個人会員制度の共存 ② 世代を超えた渡航と受け入れ(Youth Program など) ③ 次世代会員にクラブ員になってもらうためには ④ 高齢になっても会員としてとどまりたいクラブとは? ⑤ 渡航・受け入れだけじゃない交流の可能性

以上を実現させるための action plan は何か? 埼玉クラブのさらなる活性化をはかるために、変化を受け止め、対応する必要がでてくるでしょう。

3. 個人会員とは、近くにクラブ組織がない、組織に属して行動するより、1 人で海外渡航や受け入れをしたい(自由度が高い)、組織的に動く手間や時間がとれない人などが考えられます。埼玉クラブに、個人会員を受け入れてほしいと依頼されることもあるでしょう。個人会員が増えることで世界の会員数が増え、FF が存在感を増し、クラブ組織も元気になっていく、そんな新しい FFI 組織像を描く時がきています。

* FFI の理事について(ハンドブック参照)

FFI の管理機関が Board of Directors(理事会)で、定期的に会合を開いて方針を定め、また、法的義務及び財政的な責任がきちんと果たされているかを監督しています。ボランティアとしての理事の任期は 4 年で、世界各地の経験豊かなフレンドシップ・フォースのリーダーや、FF 以外のビジネス、専門的存在の人々がその任に就いています。

今後の予定



10 月 1 日(日)		理事会 ZOOM 会議
10 月 2 日(月)～ 5 日(木)		世界大会 Dubrovnik, Croatia
10 月 12 日(木)～ 18 日(水)		Sunshine Coast club に渡航
10 月 18 日(水)～ 22 日(日)		Mount Barker club に渡航
11 月 23 日(木)(祝日)	10:00～12:00	理事会 シーノ大宮・5階(桜木公民館) 講座室2
	13:30～16:00	渡航報告会・シーノ大宮・5階(桜木公民館) 講座室1
12 月 3 日(日)	9:00～17:00	カルタスホール 10 時～万華鏡作り
		午後 Year-end Party

発行 : ザ・フレンドシップ・フォース・オブ・埼玉

広報部 : 浜 堀切 原田 石橋 稲垣(朋) 田中 浜島 川田 HP 担当: 堀切

Mail : friendship.f.saitama@gmail.com

発行日 9 月 30 日